



<同志社人が母校を誇りに思える情報>

「同志社ファン・レポート」

Ver.2-019 号（通巻 250 号）

2018年に発信した「同志社ファン・レポート」



新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

2018 年は、月 2 回の発信ですから 24 通を発信させて頂きました。累計では、この号で 250 号になります。

今まで色々な同志社についての情報をお届けしてきましたが、貴殿の母校を思われるお気持ちのレベルはアップされましたでしょうか。

同志社大学が何を目ざし、どのような改革を行ってきたか、また、今後行おうとしているかについては、『いま大学で勉強するということ – 「良く生きる」ための学びとは–』の「キーワード情報」で把握されたことでしょうか。

同志社大学は「総合知」を目ざし、そのために「リベラルアーツ」の考えをベースにしたカリキュラムを文部科学省の「学習指導要領」の改訂を見ながら、改善してきています。実行されたものの一つに「同志社科目」を設けたこと。しかも全学で受講が可能にした。その科目では、新島襄のことは勿論、同志社の歴史やキリスト教まで同志社人としてのベースを提供することになった。

もう一つの同志社のベースである「良心」については昨年来の「連続講座」で各分野の先生からのアプローチで理解を深めていただいたことでしょう。

「同志社ファン・レポート」は以上のように文系の情報が従来から多いことに気づき、理系の情報も採り入れることにチャレンジしてみました。その情報を【 Doshisha Science

Now】とネーミング。取材に出かけて、諸先生のお力で次のような内容をお届けすることができました。「同志社目薬」、「工学応用にも結びつくコウモリの研究」（飛龍志津子教授）、「無接点、超小型マイクロモータ」、「活性酸素と老化防止」、「インフルエンザ薬の研究」。読者からは「このような分野でも同志社は頑張っているのだ」との声もいただきました。

人気は「人」でした。その月に因んだ「同志社人」を登場いただきご紹介してきた。

通巻130号を超えた時に、「これまでのお礼と今後の方針」を述べ、更に7月には「同志社ファン」の意味を確認させていただきました。

それは、卒業生が単なる「校友」ではなく、「同志社ファン」と言えるほどの強い母校愛を持って戴きたいと考えているのです。

その狙いは、「母校愛」という精神的なものだけでなく、寄付金、財政的支援も辞さないレベルに成って戴きたいのです。そのためには、継続しての刺激が必要と考えて、15日毎に発信しています。とは言え、最後は皆さんの「感謝」の気持ち次第とすることでしょう。それも新島襄や同志社を理解する内に、次第に強くなってくると信じています。ご自分の「徳」を積むためにもお考え下さい。

母校・同志社大学への寄付について

今、同志社大学が力を入れているのは「同志社大学2025 ALL DOSHISHA 募金 For 150th anniversary」です。

より充実した学習環境を整えるには、また、素晴らしい教授陣を招聘し、研究環境を提供するには、多大な資金が必要です。しかし、それを学生からの学費を充当する収支構造では、少子化による入学生減は大打撃です。それをカバーする手立てが必須で、急がれます。

かつて『週刊東洋経済』の臨時増刊号で「本当に強い大学2018」を特集していた。ダントツは慶應義塾大学。その評価のモノサシにも問題もあるが、このようにランキングを見せつけられると母校愛の血が騒ぎます。

2年半まえの『週刊ダイヤモンド』（2016. 5. 28 発行）の「慶応三田会—学閥の王者—」を読むと大学の規模は別にしても組織力の強さを感じた。例えば、募金活動は多様なルートや組織をフル動員して、アプローチしている。それは、年度別の同窓会、企業、諸会、地域別同窓会、(国内・海外)、体育会系、ゼミ、職域、がある。重複してもありとあらゆるルートや組織を通じて、かつ、実績を公表して良い意味で競争させているようです。

同志社も組織的、戦略的な手法がもっと必要ではないでしょうか。少なくともチャンネルは複数、網の目のように張り巡らせていかないとカバーできないと思われます。

「声援」だけでは、大学の充実には、繋がらない。そのためには組織づくりに加えて、各グループで火の玉になって呼びかけるリーダーが欠かせません。そのリーダーにも同志社から激励をお願いしたいものです。

なお、寄付とは異なる母校への貢献出来るものが2種類あります。

① **同志社カード**

詳しくは次にありますが、このカードで支払う度に一定比率で同志社大学に寄付が届く仕組みです。ぜひ、同期会や支部総会では、これをお使い下さい。

<https://www.smbc-card.com/nyukai/affiliate/doshisha/index.jsp>

又は、入会案内デスク

0120-816437、[東京]03-6627-4136、[大阪]06-6445-3503

[平日]9:00～19:00 [土・日・祝日]9:00～17:00（ただし、12/30～1/3 休）

② **同志社古本募金**

古本を提供すればその販売金額が同志社に寄付されます。Web から申し込めば、集荷し、後日、礼状が届きます。詳しくはつぎをご覧ください。

<https://www.furuhon-bokin.jp/doshisha/>

電話での申し込みは、提携会社バリューブックス 0120-826-292 に電話し、「同志社大学古本募金の申込み」と、伝えれば、集荷に来てくれます。

これで面倒な古書の「断捨離」が簡単に行えます。ぜひ、お電話下さい。■